

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2008-539043(P2008-539043A)

【公表日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2008-509171(P2008-509171)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月1日(2008.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基端及び先端を有し、かつ少なくとも一部の内部をルーメンが延びる長尺状シャフトと、該長尺状シャフトの先端近傍に配置され、かつフィルタを含む第 1 の塞栓部材とを備えた第 1 の塞栓器具と、該長尺状シャフトはほぼ横方向に配置される開口を備えることと、
 基端及び先端を有し、かつ少なくとも一部の内部をルーメンが延びる長尺状シャフトと、該長尺状シャフトの先端近傍に配置され、かつ前記第 1 の塞栓部材のルーメンの少なくとも一部内に配置される第 2 の塞栓部材とを備える第 2 の塞栓器具と
を備える塞栓防止システム。

【請求項 2】

前記第 2 の塞栓部材が、前記第 2 の塞栓器具のルーメンに連通するバルーンを含む、請求項 1 に記載の塞栓防止システム。

【請求項 3】

前記第 2 の塞栓部材が、前記第 1 の塞栓器具のルーメン内に配置される、請求項 1 に記載の塞栓防止システム。

【請求項 4】

前記第 2 の塞栓器具の長尺状シャフトがハイポチューブを含む、請求項 1 に記載の塞栓防止システム。

【請求項 5】

前記第 2 の塞栓器具の長尺状シャフトの外径が 0 . 2 5 4 ~ 0 . 3 8 1 m m (0 . 0 1 0 ~ 0 . 0 1 5 インチ) である、請求項 4 に記載の塞栓防止システム。

【請求項 6】

前記第 2 の塞栓器具の長尺状シャフトの外径が 0 . 3 0 5 m m (0 . 0 1 2 インチ) である、請求項 5 に記載の塞栓防止システム。

【請求項 7】

前記第 1 の塞栓器具の長尺状シャフトが、0 . 3 8 1 ~ 0 . 5 0 8 m m (0 . 0 1 5 ~ 0 . 0 2 0 インチ) の外径を有するハイポチューブからなる、請求項 1 に記載の塞栓防止フィルタ。

【請求項 8】

前記第 1 の塞栓器具の長尺状シャフトの外径が、約 0 . 4 0 6 ~ 0 . 4 8 3 m m (0 .

0.16 ~ 0.019 インチ) である、請求項 7 に記載の塞栓防止フィルタ。

【請求項 9】

前記第 1 の塞栓器具の長尺状シャフトの外径が、約 0.457 mm (0.018 インチ) である、請求項 8 に記載の塞栓防止フィルタ。

【請求項 10】

前記ほぼ横方向に配置される開口が、前記第 1 の塞栓器具の長尺状シャフトの先端から 0 ~ 5 cm の位置に配置される、請求項 1 に記載の塞栓防止フィルタ。

【請求項 11】

前記ほぼ横方向に配置される開口が、前記第 1 の塞栓器具の長尺状シャフトの先端から 0 ~ 3 cm の位置に配置される、請求項 10 に記載の塞栓防止フィルタ。